

「東アジア高校生環境フォーラム 2019」開催

7月26日より29日まで、2019年度「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」として、JSTの支援を受け、「東アジア高校生環境フォーラム」を開催しました。

この事業は、東アジア地域の高校生が河川の調査を中心とする一連の研究活動を通じて生態系に対する理解を深めると共に、さまざまな学習と交流の中でお互いに対する理解と友情を深めることを目的とする事業です。

7月26日（金）は、本校のクリエイトラボで歓迎会を実施しました。海外（韓国、台湾）からの参加者15名はいくぶん緊張した面持ちでしたが、同じ調査を行うチームのメンバーたちと出会い、お互いにすぐに親しい友人になることができました。

7月27日（土）は、台風が接近していましたが、予定通り淀川流域の3ヶ所で水質、底生動物、魚類の調査を行いました。雨や風がまだ残るハードな条件下でしたが、参加者の強い意欲と情熱で必要な調査をすべて行うことができました。

7月28日（日）は英語ポスター作成とポスターセッションの日です。講師の指導の下で、お互いに英語でコミュニケーションをとりながら、各グループで一つのポスターをつくりあげました。短い時間ですが、参加者の創意や工夫にあふれたポスターが見られました。

7月29日（月）大阪府の環境農林水産総合研究所生物多様性センターで講義を受講しました。研究者の方から有機物による水汚染のしくみや淀川の多様性が生物どうしの密接な関係によって維持されていることなど、普段知らなかった一歩深いお話を聞くことができました。

短い時間でしたが、参加者が環境の理解という一つの目的に向かって全力で取り組めたことは、参加者の成長の糧となったと確信できました。将来、力を合わせ、地球環境の保全という大切な仕事に力を合わせて取り組んでくれることと強い期待を感じさせてくれた4日間でした。



